第3回振興計画審議会（要約議事録）

会議名：第3回振興計画審議会

開催日時：令和7年7月10日（金）14時～16時

録音時間：約2時間（7,130秒）

議長：三村会長

副会長：橋本恵正（当日新任）

出席委員：

岡山大学 名誉教授 三村 聡

備前東商工会 理事 中本 孝一郎

岡山県備前県民局地域政策部地域づくり推進課 課長 堂本 竜也

関西福祉大学看護学部看護学科 准教授 中村 有美子

備前日生信用金庫総合企画部 部長 中川 正典

備前市社会福祉協議会 会長 竹内 史章

備前市労働組合協議会 議長 三木 隆司

備前市自治会連絡協議会 会長 橋本 恵正

NPO 法人備前プレーパークの会 代表理事 北口 ひろみ

市民公募委員 松熊 健二

市民公募委員 三木 惇郎

市側出席者

市長公室長 河井健治

総務部長 石原史章

企画財政部長 榮 研二

市民生活部長 畑下昌代

保健福祉部長 芳田 猛

産業観光部長 桑原淳司

建設部長 梶藤 勲

総合支所部長 森 優

市立病院総括事務長 藤澤昌紀

教育振興部長 久保山仁也

生涯学習部長 杉田和也

事務局

企画課長 木和田純一

企画課課長補佐 後藤光喜

企画課再任用 岩崎和久

1. 会議概要

本会議は、備前市第3次総合計画後期基本計画および第3次備前市まち・ひと・しごと総合戦略の策定に係る審議を主目的として開催された。前期基本計画の成果検証、市民意識調査の分析、各委員からの意見聴取を通じて、今後の計画策定に向けた課題と方向性を確認した。（資料：「第3回審議会に向けた今後の進め方」により確認）

2. 前期基本計画の成果概要

前期基本計画では28施策・110指標を設定し、以下の達成状況となった。

評価	件数	割合
達成（○）	50件	45.4%
未達成（▼）	40件	30.4%
大幅未達成（×）	20件	18.2%

3. 各委員発言・事務局等回答詳細

堂本委員

1. 国際バカロレア（IB）教育について

IB教育の導入について、費用対効果や現状の財政状況を含めて多角的に検討する必要があると思う。

現時点で本当にこれを進めるべきかについて、慎重に検討した方がいいのではないか。

2. DX推進と鳥獣害対策について

デジタル社会への対応が言われているが、実際に備前市でも鳥獣害対策DXに取り組まれているので、その実施内容等について市民への周知の必要性があると思う。

【教育振興部長】

1. IB教育について

現在、小・中学校15校が候補校として認定に向けて取り組んでいます。モデル校として集中して進めており、認定されれば高校をどうするかを検討が必要になります。

【産業観光部長】

2. DX推進について

鳥獣害対策のDXの取り組みは行っていますが、成果はまだ大きくない状況で、今後、市民へのアピールも必要と考えています。

中川委員

1. 海運業の船員不足問題について

海運業、特に船員不足への深刻な課題と市の対応について聞きたい。

2. 女性の創業支援について

女性の創業支援について、現状や市の考え方を聞きたい。

【産業観光部長】

1. 船員不足問題について

重要な問題として認識しているが、まだ大きな成果には至っていません。今後も関連団体と協力し、具体策を検討します。

2. 女性創業支援について

女性に特化した創業支援の仕組みは現状では設けていません。

中村委員

子育て支援の実感率について

子育て支援の実感率が45.4%と半数未満である理由、数値が伸び悩む要因と今後の対策について質問する。

【保健福祉部長】

PR不足もあるが、別問題として分娩施設や婦人科がないことも影響しているものと認識しています。

具体的な子育て支援については、個別計画において分析を交えた事業実施を進めることとなります。

北口委員

1. 新図書館を核とした居場所創出について

新図書館やビーテラスを核に子どもや不登校児、若者、高齢者などがつながる居場所創出を提案。生涯学習課の活動強化や「川崎市子どもゆめパーク」などの多様な事例の参考を促す。

2. 教育の多様性について

バカロレア教育だけでなく、「遊育」を基軸とした多様な創造豊かな教育プランで共に創る学校づくりを提案。選択肢があることで教育移住につながるのではないか。

【生涯学習部長】

新施設オープン（ビーテラスや図書館）に合わせて、ボランティアとの共同事業に取り組みなど検討しているので協力をお願いします。

三木惇委員

1. ICT教育の効果測定について

GIGA スクール構想等の ICT 教育の活用効果や評価方法、検証体制について具体的手法を質問する。「PISA のスコアが 24.5%上昇」など海外実例も提示する。

2. 歴史文化施設の活用について

歴史文化施設の市民参加型活用や教育連携を要望する。特に新美術館の市民参加と子供向け施策を求める。また、開催方法も対象者によって配慮願いたい。

3. 指標の優先順位について

110 の指標があるが、選択と集中が必要で、各指標について政策ごとの優先順位付けと、ウェルビーイングとの相関関係について質問する。

【教育振興部長】

1. ICT教育について

ICT 教育の活用方法を現在検討しているところです。

【生涯学習部長】

2. 新美術館について

7 月 12 日開館予定で、大人向け中心だが、今後子供向け授業や教育と連携した事業も検討しています。「ピカソ関係」、「備前市の陶芸」、ワークショップなども予定しています。

【事務局】

開催日時は対象に応じて工夫します。全庁的に配慮していると思います。

3. 指標の優先順位について

現時点では指標に優先度は設定していません。各政策に応じた指標設定により、市の発展につながる取り組みを進めています。ウェルビーイングとの相関資料は後日共有予定です。

松熊委員

1. 全体最適化の重要性について

人口減少社会に向けて、部分最適ではなく全体最適での計画推進を希望する。

2. 市民意識調査のバイアス（調査結果の偏り）対策について

回答年代のバイアスや回答方法（web 移行）による結果の偏り・ミスリードを心配している。世代別に人口比率加重の集計法を採用してはどうか。

3. インフラ指標の統一について

下水道はストックマネジメント実施率、水道は耐震化率と、同種施設で表現が異なる点を指摘する。

【企画財政部長】

1. 全体最適化について

人口減少対応は今後の計画に横断的に含める必要を認識しています。新施設（ビーテラス・図書館・美術館）を核に、子ども・女性に選ばれる街づくりを重視し、地域活性化

を目指したいと考えています。

【事務局】

2. 意識調査のバイアス対策について

web 化を推進し、各世代から均等回答を目指す。ミスリードの防止策や集計時のバイアス是正についても検討したい。

【建設部長】

3. インフラ指標について

下水道が上水道とは違う指標となるのは、下水道は補助事業を受ける前提としてストックマネジメント（管理）計画があり、それを実施することでの指標としています。上水道は、前提条件がないので現在取り組んでいる耐震化を指標としています。

橋本副会長

1. まちづくり会議の位置づけについて

まちづくり会議の設立経緯、市民主体化後の位置づけや機能の明確化が必要である。

2. 日本遺産の活用について

日本遺産の「活用」を計画の柱・具体項目に含めることが急務である。日本遺産を単なる観光としてではなく、全体活性化の軸にすべきである。

【市民生活部長】

1. まちづくり会議について

まちづくり会議の体制・活動見直しを検討します。

【産業観光部長】

2. 日本遺産について

日本遺産は観光・文化両面で活用・保存を進めているが、計画の中心柱化については、多様な意見を踏まえて検討します。

中本委員

1. 予算配分と地元回帰について

限られた予算でのバランスと地元への回帰促進を希望する。

2. 学校統廃合について

学校統廃合問題について、現時点で議論を始める必要があると思う。

3. ALT 配置状況について

ALT（外国語指導助手）の配置状況について質問する。

【教育振興部長】

1. ALT 配置について

令和 7 年 5 月から各学校の各学年に ALT を 1 名ずつ配置しています。行事にも積極的に参加していると聞いています。

2. 学校統廃合について

少子化により今後検討が必要だが、現時点で具体的な検討はありません。

竹内委員

インフラメンテナンスの計画性について

道路や橋梁・上下水道等インフラの計画的メンテナンスの全体計画状況やアクションプランの「いつまでにやるのか」明確化が重要である。命や食品等の社会インフラ優先対応、目標値到達の現実性への疑問・不安がある。

【建設部長】

橋梁は毎年点検し、必要箇所は補修・予算化しています。道路は箇所に応じて補修しています。水道は管路の漏水・耐震状況等を見ながら修繕しています。

【総務部長】

公共施設は「公共施設等総合管理計画」に基づき優先順位をつけて耐震化・統廃合等を計画的に推進しています。

三木隆委員

企業支援と移住定住促進について

既存企業（レンガ製造業等）への新卒採用促進や移住促進策の方向性について質問。住居（独身寮）と関連付けた企業・従業員向けインセンティブ（税減免等支援）の具体案を要望。

【建設部長】

移住定住施策では、新築・家賃補助ともに効果に疑義があり廃止した経緯があります。企業の新卒採用促進に寄与できる施策を今後検討します。

4. 今後のスケジュール

次回第4回審議会は9月1日開催予定で調整。各委員からの意見を踏まえた修正素案を提示し、継続審議を行う予定。

以上